

参考和訳

気候変動に取り組む新たな体制に向けたソウルコミュニケ 2016

我々、気候変動に関するソウルメイヤーズフォーラム 2016 に参加した都市と自治体は、気候変動対策における都市と自治体の多大な貢献を評価するパリ協定を支持します。我々は、気候変動について全世界的に、野心的に、全員参加で行動する新時代を築くためのパリ協定の実施に、積極的に取り組むことを約束します。

気候変動に関する国際的な議論の野心レベルを高めるため、それらの議論における都市と自治体の役割をより明確に、より強化すべきという認識から、我々は、以下のことを奨励します。

- 気候変動枠組条約（UNFCCC）の締約国は、2020 年以降の約束草案（Nationally Determined Contributions: NDCs）の策定及び達成の過程に都市と自治体を含めることを促し、全てのレベルの政府機関による協力及び連携を強化すること。
- UNFCCC 事務局は、気候変動政策に関する「首長誓約」が、技術支援と情報集約を通じて自治体を導き支援するとともに、都市と自治体の目標と各国の NDCs を結びつけることが可能な、主要なイニシアチブとして認識すること。また、カーボン気候レジストリや他の適切なメカニズムと連携し、非国家主体気候行動（NAZCA）プラットフォームにて、全ての関連する自治体の目標やコミットメントを可視化すること。
- 世界各国の自治体は、気候変動政策に関する「首長誓約」（Compact of Mayors）やその他の「100% 再生可能エネルギーを目指す都市・地域ネットワーク」、「持続可能な調達に関する世界先進都市ネットワーク（GLCN）」等の主要なイニシアチブに参加し、利用可能な支援を活用すること。
- 世界の金融機関は、自治体における気候変動対策資金へのアクセスを著しく向上させること、そして、「転換のための行動プログラム（TAP）」に選定された取組を優先的な実施プロジェクトとして検討すること。
- 第 3 回国連人間居住会議（HABITAT III）では、ニュー・アーバン・アジェンダの中でも、気候変動及び持続可能な調達・消費のプロセスにおいて、都市と自治体の参加と関与を一層高めるような交渉結果に至ること。

我々は、気候変動における政府間パネル（IPCC）が準備を進めている報告書の中で、都市特有の課題に対するより具体的かつ包括的なアプローチを用いた対策が取り上げられることを歓迎します。このために、都市と自治体による積極的なリーダーシップを発揮することを誓い、国や広域自治体などあらゆるレベルの機関と垂直的な連携をしながら野心的な気候変動対策を加速することを目指します。

我々は、世界各国の都市と自治体が「自治体と地方行政機関の発言枠」(Local Governments and Municipal Authorities (LGMA) Constituency)を通じて、UNFCCCの活動への参画を一層強化することを歓迎します。

我々は、パリ協定の発効を確実にするため、全ての政府機関、中でも排出量の多い先進国並びに発展途上国が、早急に批准書を提出することを奨励します。

我々は、本共同声明が2016年10月にエクアドル・キトで開催されるHABITAT IIIにて真摯に議論されるとともに、同年11月に開催されるCOP22において都市と自治体のメッセージとして共有されることを目指します。

2016年9月2日

1) 「気候変動とエネルギーに関する世界首長誓約」が、気候変動政策に関する「首長誓約」と「市長誓約」の統合により2017年1月1日に始動します。

気候変動に関するソウルメイヤーズフォーラム2016の参加自治体

(五十音順)

インドネシア、スラバヤ	ミャンマー、タンビュザヤ
インドネシア、ボンタン	大韓民国、インジェ市
エクアドル、キト	大韓民国、ソウル市
エチオピア、アディスアベバ	大韓民国、安山市
カナダ、モントリオール	大韓民国、亀尾市
スリランカ、ガル	大韓民国、水原市
スリランカ、マータレー	中華人民共和国、Fengxi 新都市
ネパール、カトマンズ	中華人民共和国、貴安新区
ハンガリー、ブダペスト	中華人民共和国、貴陽市
バングラデシュ、ニルバマリ	中華人民共和国、広元市
フィリピン、カトバロガン	中華台北(台湾)、高雄市
フィリピン、ケソン	中華台北(台湾)、新北市
フィリピン、マカティー	中華台北(台湾)、台中市
フィリピン、レガスピ	南アフリカ、ケープタウン
フィンランド、ヘルシンキ	日本、京都市
ブータン、ティンプー	日本、東京都
ポーランド、ワルシャワ	米国、アスペン

原文：“Seoul Communiqué 2016 for the New Climate Regime”

参考訳：イクレイ日本(翻訳協力 イクレイ日本翻訳ボランティア)

本文は2016年9月2日付のソウル市及びイクレイのSeoul Communiqué 2016 for the New Climate Regimeの参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合には原文が優先します。